



# NEWSLETTER

NO.21 1997.10.30 発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒390-0804長野県松本市横田3-10-14 TEL&FAX：0263-39-1583

発行：村居正雄 編集：大鶴次郎 現会員数：225名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

E-MAIL: jaicoh-net@hi-ho.ne.jp

## 8年目のJAICOHに 求められているもの

会長 村居正雄

1990年9月16日がJAICOHの誕生日です。国際協力に関心を持つ20数名の変わり者が集まって、

- (1) 歯科保健国際協力に関する情報の収集と提供
- (2) 研修会の開催と人材の育成
- (3) 国際協力活動の実践
- (4) 関係諸機関・団体との連携
- (5) 歯科医学教育における国際保健の位置づけを目指して今日まで努力を重ねてきた。

そして7年を経過して成果と問題点が見えてきた。

- (1) 日本の歯科関係NGOが途上国でイキイキと活動し、国際協力活動が歯科界で認知されてきた。
- (2) JICAに半田先生、国立国際医療センターに池田先生が専門家として採用された。
- (3) JICAのプロジェクトとしてスリランカ・ペラデニア大学歯学部への施設および教育に対する援助協力が始まった。歯科分野の単独プロジェクトは初めてのケースである。
- (4) いくつかの口腔衛生学、社会歯科学のテキストに、国際交流、国際協力の項が新たに加えられた。

など、JAICOH設立当初の目的は一応達成できたように思える。しかし、フィールドでの活動は問題が多い。

- (1) カンボジア現地駐在員の Dr. So Po Khim が突然リタイアしたり、ソロモン諸島でJOCV隊員の伊藤先生が事故死したことによって活動が頓挫した際に、それを修復するエネルギーに欠けている。他分野の国際協力NGOに比べ本気で取り組む層が薄いということか。

(2) 事業評価に甘さがあり、プロジェクトの的を絞りきれず発展させることができない。

(3) カンボジアの場合、あまりにもボランティア貯金に頼りすぎて力量以上に背伸びした活動となっている。

8年目を迎えてJAICOHは、以下のように方向転換を始めました。

- (1) 会員の力量と身の丈にあった活動。
- (2) 現地と日本の人々の生活に密着した相互理解と交流。
- (3) 日本で自分の脚もとを見直す行動につながる活動、日頃の地域活動との連続性を大切にした活動。

会員の皆さんの声がなかなか聞こえてこないという歯痒さを感じております。まだまだ開かれた会になっていないという反省から、インターネットにメーリングリストjaicoh-netを開設しました。JAICOH会員ならば誰でも登録して参加できます。登録は、jaicoh-net@hi-ho.ne.jpに電子メールでご連絡を。ご参加お待ちしております。



元農相ジョイニ・ツツアさんの活動を報じる信濃毎日新聞 (7月11日付)

## ---追悼---

## 伊藤尹先生を偲んで

## 「そのうらにあるメッセージ」

後藤ひろ子

「人の死、特に若い人のそれは、うらに大きな意味がある。」17才の一人息子を留学先の日本で突然失ったオーストラリアの母親の手紙の一節です。最愛の人の死を、何とか受け入れんがための彼女なりの納得の仕方・・・と言ってしまうばそれまでですが、私はこのことばを素直にとらえています。伊藤先生の場合、私たちに何を伝えているのでしょうか。

伊藤先生は時々私の夢に現れます。私は彼からのメッセージを探ります。何の意味もなく、彼がおぼさんのところへ現れるはずはありませんから。

今年の11月、所属している英会話クラスの仲間とグラウンドキャニオンに行く計画があります。その計画が発表された日。私自身の参加を決めた日。その両日の夜、伊藤先生が夢に現れました。枕を涙で濡らしながら目覚めたその朝が8月13日であることに気づき、愕然としました。

私どもの地域では、8月13日に家族の霊が黄泉の国から帰ってくると言い伝えられています。彼も、信州、明科町のふるさとへ帰る前に、私のところへもちょっと寄り道をしてくださったのでしょうか・・・？「途上国を忘れちゃダメだよ」と。

「・・・後藤さんは、再びカンボジアを訪れることがあろうとなかろうと、ご自身の体験したこと、そして帰国してから考えたことにこだわり続けてください。後藤さんの周囲から途上国への関心が少しでも広がっていけばすばらしいことだと思うのです・・・」94年、カンボジアセミナーから帰国後、伊藤先生からいただいた手紙の一部です。

便りの最後「お元気で。またいつか。」の文字は、見るたびにほやけていきます。

慎んで伊藤先生のご冥福をお祈り申し上げます

## ツツアさんがやってきた

～ ソロモンと日本の生活の交流



白戸 洋

「ツツアさんにはありのままの日本の生活を見せてあげてください。信州の農村でも、まだ自分の食べ物を作って、皆で分け合って生活している姿をみてほしいと思います。あたりまえの生活をツツ

アさんがどう感じるかに興味があります」今年の春、帰任直前に不慮の事故で亡くなった青年協力隊でソロモンに赴任していた歯科医師、伊藤伊さんからのファックスである。伊藤さんは、ソロモンでは歯を治すことよりむしろ、歯が悪くならないことこそ大切だと、地方の村を巡り予防活動に力を注ぐとともに、生活や食の問題にも取り組んでいた。その伊藤さんが最後の仕事として取り組んでいたツツアさんの日本への招聘について、彼のコメントとして届いた亡くなる一週間前のものである。それから、約3ヶ月後の7月2日から7月11日まで、ソロモン諸島からジョイニ・ツツアさんとトニー・ジャンセンさんが来日し、松本市や長野市など、信州を中心に農村の人々と交流をおこなった。

ツツアさんは、学校の教員から国会議員となり、教育大臣と農業大臣を合計4年つとめ、国づくりのリーダーとして活躍してきたが、「このままではソロモンはダメになる、近代化や発展を迫るのではなく、昔からの文化や知恵を守っていこう」と、農業大臣をやめ、昔ながらの伝統的な農法をおこない、守っていこうという農場を開いている。現在3.5haの農園に芋や豆、野菜などを作り、そこで学んだ人々が生活改善運動や家庭菜園づくりの普及をしている。トニーさんはオーストラリア人で大学で自然農法を学びツツアさんのパートナーとして主に地方の村づくりを手伝っている。

ツツアさんとは、JAICOHが「生活の交流を考える会・ながの」とともに行ってきたソロモンでのスタディツアーの際に、伊藤さんの紹介で一昨年に出会った。

「すばらしい人がいる」と伊藤さんが興奮していたことを思い出す。ツツアさんが行っている活動がソロモンだけでなく、今の私たちの地域や社会にも大切なことを伊藤さんは何度も繰り返した。その後、ソロモンを訪れる度に交流を続けてきたが、忙しいツツアさんを日本に招き、信州の生活をまず見てほしい、そして一緒に考えてこれからの未来を語ろうということになった。

ツツアさんの「援助でなく、日本が近代化していく中で、どう変化したのか、農村をどう守ってきたのかなど知恵の交流をしたい」という思いを生かすものだ。その矢先の伊藤さんの事故であったが、彼の遺志をつぐことにもなると思え、今回の交流を予定どおり進めた。

ツツアさん達は、精力的に信州の各地を訪ね、多くの人々と交流を重ねることができた。野菜市や竹炭作り、ワイン作り、おやき作り、そば打ち、平飼養鶏、ニジマス養殖、土地整理事業、中山間地農業、有畜循環農業、産業廃棄物投棄・土砂採取現場などの見学を行なった。各地で持参のスライドを使ってソロモンの現状を説明し、近代化や農業、健康、福祉、生活などについての地域の人々と交流した他、大学生との交流、有機水田の草抜きや伊藤さんのご家族を訪問するなど信州中を飛び回った。

日本がこれほどまでに発展しながらも、「儲からない」にも関わらず、農村では、まだまだ自分の家の近くで米

を作り、野菜を育てて、自分の食べ物を自分で作っていることに、ツツアさんは驚いていた。それはあたりまえのことながら、よく考えてみれば、確かに不思議なことである。世界で最も効率を追い求める私たちの社会が、なぜ非効率な農業や農村を捨てきれないのかをツツアさんは問いかけたのだ。

一方でソロモンの環境や人々の生活が近代化の中で破壊されつつある現状を、日本へのまぐろや木材の輸出を通じて、日本人のライフスタイルの問題として捉え、「日本の農業や森林を守ることこそが、ソロモンの自然と人々を守ること」と指摘した。ツツアさんの鋭い視点と深い考え、情熱あふれる想いに、私たちも多くのことを学び、そして勇気づけられたと思う。そして「発展の中でもはや元には戻れないとしても、これまでの人間の営みをきちんと評価して守べきものは守り、伝えていくべきではないか」というツツアさんの言葉は、私たちにとても貴重である。

さらに今回の交流を通して、来年以降もこのプログラムを続けていくことの必要性和可能性を確認した。小規模な稲作、竹炭の作り方、豆の栽培と加工、利用、若い農業者の教育、保健と食など具体的な交流テーマが見えてきた。また、ソロモンを訪問したいという声も出て、これからの交流が期待できる。まず毎年、ツツアさんとその仲間を日本に招いて交流を行ないたい。そのために、ツツアさんをみんなで呼ぼう基金を1口5,000円で募るなど、みんなで少しずつお金を出し合って呼ぼうと考えている。

「伊藤さんと出会わなければ、私はここにいなかった。」

**HOME CARE®ですこやかに**  
歯と歯ぐきにやさしい



ホームケア歯ブラシでホームケア

株式会社 永山 〒569 大阪府高槻市宮之川原4-19-9  
TEL (0726) 89-4188 FAX (0726) 89-8456 国産D120-118418

妊産婦・母親指導用ビデオ好評発売中!!  
推薦/日本歯科医師会・日本歯科衛生士会

8020  
**お母さんのデンタル教室(全3巻)**  
◎監修・指導/西野瑠穂(徳島大学)

I. 赤ちゃんができたら	15,000円
—妊娠から乳歯がはえるまで—	
II. 乳歯を大切に	15,000円
—むし歯予防と良い咬み合わせの育成—	
III. 大切な第一大臼歯	15,000円
—健康な口腔内を保つために—	

各巻18分 ★全3巻セット価格(VHS)41,000円(要税別送料)  
お腹の中の赤ちゃんの歯の成長の仕方から、歯並びや咬み合わせに重要な役割を担う第一大臼歯までを解説。

Do 株式会社 デンタルダイヤモンド社 〒113 東京都文京区本郷3-18-16 碧片ビル  
TEL. 03-3814-9101 FAX. 03-3814-9105

長野でまた会おうと約束したのに、なぜ彼はここにいないのか」伊藤さんの故郷の明科町にご家族をお訪ねした際に、涙ながらに語るツアさんの姿に、短か過ぎた人生を駆け抜けていった一人の若者が残してくれた、この小さな交流をじっくりと育てていきたいという思いを強くした。

JAICOHと私

神谷 誠 (長野県・開業)

またたく間に一年が過ぎようとしている。去年だってさんざん後悔して反省して、もうこういった海外援助などといったお節介には、見切りをつけようかと思っていたのに、また今年もJAICOHの総会が松本市で開かれてしまった。地域セミナーと称して「地域・生活の中の健康、医療、福祉を考える」ことになっていた。5月31日の午後から行われたJAICOH総会(活発な論議はなく)に続いて、地域で活躍する、変わり者だが筋の通った歯科医師や歯科衛生士、極めつけはフィリピンで活躍する偉いお医者さん(通称バブさん)たちが、地域医療の醍醐味をまくしたてた。決してお世辞じゃなくて、大鶴先生のスゴさが初めてわかった。私も貧乏が自慢だが、みんな相当経済的に苦労している。こんなんじゃJAICOHはやっていけるのか?会費の徴収もままならないのではないかと、といった心配は誰もしないのがこの会のよいところである。さすがどこの国でもエライ先生はエライのである。金をばらまくだけが福祉でも地域づくりでもないし、ましてや医療には金がかかるから何もできないなどと考えているようでは、カビの生えたお役人より始末が悪い。医療や保健の原点は民間伝承である事をここで学ばせていただいた。地球上の我々は集落に住み、お互い否応なしに関わりの中で生きている。健康であることや、さ

さやかな楽しみを求めて毎日を過ごすことは、人間一人一人の問題ではなく、まさに地域のあり方にかかっているといっても言い過ぎにはならないであろう。私たちはJAICOHの活動を通じて、さらにこの総会や記念講演・フォーラムを通して地域でどのように医療を行うかを語り合ってきた。狭い診療室の中にへばりついて、殿様診療を行うつもりなど毛頭ない。そんなみんなの熱気をはらんで、2日にわたった今回の集會も、大成功大酔宴のうちに幕を閉じた。また少し、JAICOHが好きになった2日間であった。

インターネットに  
メーリングリストを  
開設しました!

JAICOHではインターネットにメーリングリスト「jaicoh-net」を開設しました。メーリングリストとは、電子メールを使った会議システムのことで、このメーリングリストに投函されたメールはメンバー全員に同じメールが送られるシステムです。メーリングリストは、異なるパソコン通信間のユーザーであっても情報の共有・議論が可能なので、たとえばニフティサーブとPC-VAN、それにインターネットのユーザーを相互につなぐことができます。とりわけ距離が離れていて、日常的に会えない人たちをつなぐ簡易会議システムとして利用が期待されます。

JAICOHメーリングリストはJAICOH会員ならば誰でも登録して参加できます。登録は

jaicoh-net@hi-ho.ne.jp

に電子メールでご連絡を。ご参加をお待ちしています!

携帯用マイクロモーター

**VIVA-MATE III** 2,000~30,000 rpm  
(ビバメイト III) 承認番号 (08B) 第0561号

- コンパクトで持ち運びが簡単に行えます。
  - 出張診療、在宅診療、集団検診
  - 電源から離れた場所での治療
  - 停電時の応急治療
- ユニットに組み込まれたフィードバック機構により抜群のねばり
- ISO規格のハンドピース、コントラアングルが装着可能
- 正逆切替可能

**NSK株式会社 ナカニシ**

本社・工場/〒322 栃木県鹿沼市上日向340 TEL:0289-64-3390 FAX:0289-62-5636  
東京事務所/〒110 東京都台東区上野3-19-4 サカイビル3F TEL:03-3835-2907 FAX:03-3835-4332

ベストセラーの **'GC'**  
モデルチェンジ

歯槽の修理やテンポラリークラウン、レジン個歯トレーの製作などで好評のユニファストがさらにレベルアップして新登場。  
従来の常温重合レジンと比べていた色調の不安定性、重合時の変形を鮮やかに解決。黄変や色調の経時変化を極限まで抑えました。

(テックの製作が迅速・簡単に) 超速硬化性常温重合レジン  
(優れた色調マッチングと耐変色性) **ユニファストII**

承認番号06日第0822号

スターターセット(3-1P)  
20g・40g・100g 粉末35g入 A2, A3, 40g(ライブピンク)各1本、液100g(104c)1本、ラバーカップ2個、歯床計量器1個、濃計量器1個、プラスチックヘラ1本、小皿1本、液皿/スリ付キャップ1個、カップホルダー1個=¥9,900  
\*既製の病院医院認者は、'95年4月現在のものです(消費税は含まれません)

株式会社 ジーシー 本社/東京都板橋区蓮沼76-1 〒174 TEL(03)3865-1221  
GC DIC/東京都文京区本郷3-2-14 〒113 TEL(03)3815-1511

## 役員会だより

次の方々より会費及び寄付をいただきました。

ご協力ありがとうございました。

### 会費を頂いた方々 (1996.12.25~1997.9.25)

村津 和正、広野 澄子、西川 利恵、中垣 晴男、茶  
 円 真理子、村田 隆子、藤井 祥子、尾崎 正之、海  
 野 知子、中久木 康一、加藤 一夫、楠川 桂子、米  
 山 周一、氏家 雅代、甘利 貞文、望月 年正、斉藤  
 盛規、三田 コト、森 かをる、村居 正雄、篠原 栄  
 子、佐藤 成浩、和歌山県歯科医師会、広田直子、滝  
 沢 純一、金田 千恵、大石 孝弘、粟屋 せつ子、西  
 川 伸枝、藤井 祥子、光安 一夫、駒津 めぐみ、宮崎  
 秀夫、細久保 真理子、橋本 隆、日黒 英朗、荒川 明、  
 鈴木 篤茂、斉藤 淳一、黒田 昌彦、海野 知子、田口  
 聡、初谷 宏一、今出 昌一、村内 光一、村津 和正、清  
 水 浩、高橋 強、吉村 英俊、(株) ジーシー、(財)日本  
 口腔保健協会、田村 六七夫、関口 泰子、社団法人  
 日本歯科衛生士会、中村 良一、石井 拓夫、高宮 哲  
 二、(株) 永山、石田 弘夫、藤田 まり子、下屋 宏幸、宮  
 武 光吉、大塚 勝男、嶋根 葉子、株式会社 ジャック  
 ス 吉見 保雄、加藤 一夫、高垣 美智子、阿部 修、姫  
 路YMCA、新庄 文明、三浦 宏子、大森 正夫、(株) モ  
 リタ、広野 澄子、(社) 日本歯科医師会、鶴巻 克雄、  
 飯田 恭子、伊東 哲、後藤ひろ子、中村 修一、麻生 弘、  
 西川 吉博、宇野 公男、神戸 智子、関谷 和夫、中村

青葉、中村 安秀、吉田 光江、木内 一彦、(社) 愛知県歯  
 科医師会、中嶋 千佳子、神谷 誠、塩田 省三、大下  
 彰雄、倉科 憲治、中村 亮、榊原 悠紀田郎、澤江 佳子、  
 深井 穂博、サンメダイカル株式会社、新谷 英敏、増田  
 憲司、八木 稔

### 寄付を頂いた方々 (1996.12.25~1997.9.25)

(株) 永山、藤井 祥子、海野 知子、三田 コト、  
 森 かをる、東京歯科大学同窓会東信支部、株式会社  
 シラネ、村居 正雄、(株) 永山、宮武 光吉、大塚 勝男、  
 三浦 宏子、深井 穂博

### ツツアさん基金への寄付を頂いた 方々 (1996.12.25~1997.9.25)

乾 順子、追川 基樹、赤羽 賢司、村居 正雄、三  
 田 コト、橋本 隆、イエズス会社会司牧センター、伊  
 藤 知、黒田 昌彦、株式会社 ジーシー、広田直子、  
 藤井 祥子、駒津 めぐみ、斉藤 盛規、海野町歯科診  
 療所スタッフ一同、斉藤 淳一、海野 知子、田口 聡、  
 和歌山県歯科医師会、田村 六七夫、安野 志乃、坂井  
 剛、(株) デンタルダイヤモンド社、森かをる、新庄 文  
 明、(社) 日本歯科医師会、後藤ひろ子、宇野 公男



もう少ヘッドの細、EMSも欲しいかも。

**EX slimhead** キーフードは歯肉部です。

DENT EX slimhead

ライオン歯科材料株式会社

ど ん な と き で も

短時間でセッティングできるケースから時間のかかるケースまで  
 どんなときでもCXが対応します。

HY材配合

ハイボンド 承認番号 04B第601号  
**クラスアイオノマーCX**  
 歯科接着用グラスアイオノマーセメント

**株式会社 松風**

本社 ●〒605京都市東山区福福上高松町11-TEL.075/561-1112(代)

第46回日本口腔衛生学会 自由集会  
「歯科保健医療に関する国際協力と事業評価」

◆日時：1997年10月31日（金） 15：00～17：00

◆会場：鹿児島県文化センター

〒892 鹿児島市山下町5-3

◆責任者：代表責任者：

深井稜博（歯科保健医療国際協力協議会 JAICOH）

眞木吉信（東京歯科大衛生学講座）

村居正雄（歯科保健医療国際協力協議会 JAICOH）

◆参加見込：30名 スライド、OHP、ホワイトボード使用

◆要旨（学会抄録）：

わが国の保健医療分野での国際協力は、ODAなど政府関連のものやNGO（非政府団体）によるものがあります。歯科の領域でも、大学等が研究の一環として保健医療活動を行っていたり、いくつかのNGOが独自の組織で国際協力を展開しています。本学会においてこれまで継続的に国際保健に関する集会在開催されてますが、その内容は、1991年「国際協力とPHC」、1993年「国際保健から何を学ぶか」、1994年「歯科医学教育と国際保健」、1995年「モンゴルへの歯科国際協力」、および1996年「国際保健-日本は途上国の健康問題にどうかかわたらよいか」でした。

国際協力の目的のひとつに、当該地域の住民の自立のための援助があります。そのためには、協力事業の長期的な計画立案と事業評価の能力が求められます。しかしながら、発展途上国の経済状態、教育制度、医療制度等を短期間で改善することは困難であり、住民の自立の達成時期を設定することは難しいのが現状です。そこで本集会では、歯科医師で国立国際医療センター国際協力局派遣専門家である池田憲昭氏から、これまでの経験を通しての国際協力事業の評価について講演をお願いします。また、併せて現在NGOの立場で活動している歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）とネパール歯科医療協力会（ADCN）が、各々カンボジアとネパールでの展開および活動の自己評価について報告します。国際保健医療協力に関心を持つできるだけ多く参加いただき、国際保健医療協力における事業評価について活発な討論を行ないたいと考えています。

◆プログラム：

司会進行 深井稜博

15：00～15：05 開会および主旨説明 村居正雄

15：05～16：20 話題提供

「国際協力と事業評価」

国立国際医療センター国際協力局 池田憲昭（45分）

「カンボジアにおける歯科保健医療に関するNGO活動の推移とその評価」

歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）柴田享子（15分）

「ネパールにおける歯科保健医療に関するNGO活動の推移とその評価」

ネパール歯科医療協力会（ADCN）山根香（15分）

16：20～17：00 ディスカッション 座長 深井稜博

「歯科保健医療に関する国際協力と事業評価」

17：00 閉会 眞木吉信

在日外国人医療相談のお知らせ

ボランティアさん大募集!!

2～3ヶ月に1回、都内及び近郊にて、在日外国人の医療相談を行っています。歯科部門をお手伝い下さる方（学生さんでも結構です）を募集しています。

医療部門アレンジ：シェア（国際保健協力市民の会）

歯科部門アレンジ：JAICOH（歯科保健医療国際協力協議会）

お問い合わせ先：シェア事務局

03-5607-4775 FAX.03-5607-4776

QWM00507@niftyserve.or.jp

編 集 後 記

JAICOH NEW LETTER 21号をお届けします。

今回もMACで作製した紙面で、文字、タイトルなどご批評、ご意見お知らせください。また、こんなふうレイアウトしてみたらというアイデアがありましたら、是非!!

今後も、MACで見やすい紙面を速やかにお届けできるよう頑張ります。どうかご声援、ご投稿よろしくお願ひします。

原稿の宛先は、JAICOH事務局、あるいは大鶴先生へ、あるいは歯科ペンクラブへファックスで。

また、下記のE-メールアドレスでもOKです。

大鶴次郎：メールホスト……NIFTY-Serbe  
アドレス……QZM03253

羽中田元美：メールホスト……NIFTY-Serbe  
アドレス……FZW03064

（羽中田）